



骨材のアルカリシリカ反応性試験（モルタルバー法）報告書

試験番号	VE-22-0585
受付日	2023年 2月24日
報告日	2023年10月 3日

大阪府吹田市藤白台五丁目8番1号
 一般財団法人 日本建築総合試験所
 試験研究センター
 センター長 瀬 博
 報告書発行責任者 山本 篤史
 材料試験室長

依頼者	会社名	日本冶金工業株式会社 大江山製造所					
	所在地	京都府宮津市字須津413					
試験実施期間		2023年3月28日 ~ 同年9月26日					
試料	種類*	フェロニッケルスラグ FNS1.2(ナスサンド) ✓					
	産地*	京都府宮津市字須津413					
	採取場所*	日本冶金工業株式会社 大江山製造所					
	採取日*	2023年2月21日					
	採取者*	宮津海陸運輸株式会社 坂根 隼					
	工事名*	_____					
備考		2023年2月24日に当センターへ搬入された。					
セメントの全アルカリ		酸化カリウム(K ₂ O): 0.42%、酸化ナトリウム(Na ₂ O): 0.25%、全アルカリ(Na ₂ Oeq): 0.53%					
試験方法		「JIS A 1146:2022 骨材のアルカリシリカ反応性試験方法(モルタルバー法)」とし、相対湿度 95%以上を確保した方法は、吸取紙による被覆とした。モルタルの配合は「JIS A 5011-2:2016 コンクリート用スラグ骨材-第2部:フェロニッケルスラグ骨材 6.4 アルカリシリカ反応性試験」によった。なお、試験は当センター 本部 コンクリート実験室にて行った。					
試験結果	供試体番号	膨張率 (%)					判定
		2週	4週	8週	13週	26週	
	1	0.004	0.005	0.006	0.006	0.006	無 害 ✓
	2	0.005	0.006	0.008	0.008	0.008	
	3	0.005	0.006	0.008	0.008	0.008	
平均膨張率	0.005	0.006	0.007	0.007	0.007		
平均膨張率と材齢の関係を図-1に、試験終了時における供試体の状況を写真-1に示す。							
<p>図-1 平均膨張率と材齢の関係</p>						<p>写真-1 供試体の状況(試験終了時)</p>	
担 当	材料部 材料試験室 試験責任者 濑井 雄斗、試験担当者 丹羽 大地						

*: 試験依頼者の情報による。



本書の取扱いについて

- ・本書の試験結果は、本書中に記載の試験体について得られたものです。
- ・本書を複製して第三者に開示する場合は、必ず全文を複製することとし、一部分だけの複製は行わないで下さい。
- ・本試験結果の一部を、当試験所の名称を付してカタログに掲載する等、一般に開示する場合は、文書によって当試験所の承認を得るようにして下さい。

本書についての問い合わせは、下記までお願いします。

一般財団法人 日本建築総合試験所

材料部 材料試験室

TEL : 06-6834-0271 (直通)

06-6872-0391 (代表)

FAX : 06-6834-0995 (直通)

06-6872-0784 (代表)